会　　報
通巻 143号　発行2024.3.10

Der Wind
（風）

湘南日独協会
Japanisch-Deutsche Gesellschaft in Shonan
事務局：〒251-0025　藤沢市鵠沼石上 1－1－1
江ノ電第2ビル7F
Tel：0466-26-3028　Fax：0466-27-5091
E-mail: jdgshonan.official@gmail.com　https : //jdg-shonan.ciao.jp/

創立２５周年を迎えて

湘南日独協会会長　島　　新

新型コロナウィルスの感染は、衰えることなく再び増加しております。同時にインフルエンザの感染も広がっています。新型コロナの感染の広がりが日本で始まったのは、４年前の２０２０年１月でしたが、幾度か増減を繰り返し、現在は第１０波を迎えています。

ところで湘南日独協会は、昨年２０２３年に創立２５周年を迎えました。あいにく新型コロナ禍の懸念から、記念のイベントは実施には二の足を踏んでまいりましたが、今年は注意を払いつつ、記念行事を実施する計画です。

まず、４月には、年度初めの年次総会です。湘南日独協会の総会もお陰様で、本年度で２５回目を迎えます。つきましては、今後の発展の為、会員の皆様からご意見を頂きたく、皆様の御出席をお願い申し上げます。（気軽にお話ができるようささやかながら飲物とおつまみを用意致します）

５月には、日本文化に親しむという趣旨で、「日本文化に親しむ会　茶道と香道をとおして」の会を催します。横浜市栄区田谷にある、本格的な茶室と庭園「宇庵」を使って催します。座礼、立礼、午前、午後と、少人数のグループを分けて行う予定です。

秋には恒例の藤沢国際フェスティバル、鎌倉国際フェスティバルへ参加し、アルプホルンの演奏参加や、藤沢ではドイツビールやドイツパンの販売を行い、会場を盛り上げる予定です。皆様のご来場とお手伝いをお願いしたいと存じます。

さらに、１０月には、２０１９年をもってコロナ禍のため休止して参りました「湘南オクトーバーフェスト」を、藤沢市民会館の会場を使って実施を計画しております。ビールや軽食を提供する予定です。ここでは、オクトーバーフェストの代わりにクラッシック音楽のミニコンサートを催してまいりました。今年は会場の皆様が飲食しながら本場ドイツのお祭りに近いものを楽しめるように演出したいと考えております。

これらのイベントだけでなく、月例の様々なサークル活動（ドイツ文学をドイツ語で読む読書会、ドイツ人も加わってのおしゃべりの会、ドイツ語でドイツの歌を歌おう会）、創立２０年になるアムゼル混声合唱団の活動や、ドイツ語講座、内外の講師をお呼びした月例の講演会も、これまで通り実施してまいります。

アムゼル混声合唱団は、昨秋10月7日にゾーリンゲンのコンサートホールで開催された、国際合唱祭Die Welt Sing – Solingen klingtにビデオ録画を送って参加しました。この映像はインターネットを通じて全世界で視聴されています。日本から唯一の参加で、ドイツ側からも賛辞を頂きました。

一方、協会運営の役員につきましては、今年は男性１名とドイツ人女性１名が加わる予定で、若返りと新しい風を期待しております。

そして何よりも会員の皆様にお願いしたいことは、これら様々な催しや活動に、ぜひご参加くださり、楽しんで頂きたいと存じます。またお手伝い頂ければより一層楽しさも増すものと確信しております。あわせて、これをご覧になった会員外の方々も、是非まずご参加いただいてお楽しみ頂き、お気に召しましたら、ぜひとも入会下さいますよう、お願い申し上げます。様々な催し、サークル活動の最新の様子は、ホームページでご覧になれますので、それをご覧になっていつでもご参加下さい。

皆様、引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

講演会「ドイツ敗北必至なり－ 三国同盟とハンガリー公使 大久保利隆」

講師 髙川 邦子 氏（翻訳家、大久保利隆の孫）

寄稿者　会員 星 野　諭

講師の髙川邦子さん（ご本人のたってのご希望によりあえて先生の呼称を外します）、旧姓大久保邦子さんはかつて筆者と同じ日本郵船という船会社に勤務されていました。

講師 髙川邦子氏

やがてご退職後翻訳家として仕事をする傍ら慶応大学で学び直され、ご自身の祖父である大久保利隆ハンガリー公使の足跡についての研究を始められました。それをまとめて2015（平成27）年に『ハンガリー公使大久保利隆が見た三国同盟－ある外交官の戦時秘話－』（芙蓉書房出版）を出版され、続いて2021（令和3）年に2冊目の『アウトサイダーたちの太平洋戦争－知られざる戦時下軽井沢の外国人－』（同）を出されました。

さらにその後も研究を深められ、１冊目の著書を大幅に改訂する形で内容を充実させ、今回の演題と同名の著書をちょうど昨年12月に出版されたところです。

1945（昭和20）年の日本の敗戦時、戦争責任を問われることをおそれた軍や政府により多くの公文書が焼かれてしまいました。公文書の史料的価値を軽視する体質が今も日本の官公庁に根強く残っていることは、重要裁判記録の破棄という昨年の事件でも明らかになりました。このことは講演後の当協会大久保明名誉会長のご発言でも指摘がありました。

一方日本の暗号電報を早くに解読したアメリカと、解読機を模倣した英国にはたくさんの暗号解読記録が今も残されています。日本の外務省が使用していた九七式欧文印字機と呼ばれる機械式暗号は、1940年にアメリカ陸軍により解読されます。

アメリカ政府は日米開戦にいたる外交交渉の際、日本政府と在アメリカ日本大使館との間でやりとりされた電報をすべて解読しており、日本が次に何を言ってくるか事前にわかっていたというのは有名な話です。イギリスでも1941年2月にその解読機の模倣機を作成しています。髙川さんは米英両国の公文書館を訪ねて大久保ハンガリー公使に関連する日本の暗号解読電報をたんねんに探し出し、それらと祖父の遺した文章や資料、およびかつて祖父からその長男である髙川さんの御父上に口頭で伝えられた話の内容とを突き合せて検証することによって祖父の事跡を明らかにしました。

大久保利隆の祖父は維新の元勲大久保利通と従兄弟の関係にあり、父利貞や兄3人は軍人でした。利隆は1895（明治28）年大久保利貞の七男として生まれ、鹿児島で育ったのち一高、東京帝大を経て1921（大正10）年に外務省に入省します。1930（昭和5）年、カナダサン生命保険会社関西支部長を務める荒木和一の次女数美と結婚し、ベルギーの日本大使館に書記官として赴任します。1934（昭和9）年帰国後、岡田啓介内閣の総理大臣秘書官に任命され、1936（昭和11）年の二・二六事件の際には首相官邸で執務していたそうです。

日本はなぜ無謀と思われる太平洋戦争に突入したのか。日本の歴史におけるとても大きな疑問ですが、髙川さんの話を聴き、著書を読むとその答えの一端が明らかになってきます。1940（昭和15）年9月、すでにヨーロッパでは第二次世界大戦が始まっていたこの時期、日本はドイツの勝利に幻惑されて日独伊三国同盟を結び、日中戦争の膠着打開に活路を見いだす方向に舵を切りました。当時大久保利隆も条約局第一課長としてその一員だった外務省は、ドイツが提案し、陸軍が進めようとした日独伊防共協定の軍事同盟化に長く反対してきました。ところが、第二次近衛文麿内閣で日独伊ソの四ヵ国の連携を構想していた松岡洋右外相と、来日したドイツのスターマー特使との間で、三国軍事同盟はあっという間に締結の運びとなってしまったのです。

これに危うさを感じた人は多数いたはずですが、そうした反対意見を封じて独断的に外交を導いた政権首脳部と、その後情報統制を行って都合の良いものだけを東京に流していた現地トップの責任はきわめて重いといえます。その両方にかかわっていたのがドイツ大使大島浩陸軍中将でした。

大久保利隆は1941（昭和16）年1月ハンガリー公使として現地に着任します。その頃ハンガリーはナチス・ドイツの圧力を受けて前年11月に日独伊三国同盟に加盟し、第二次世界大戦の渦に巻き込まれようとしていました。3月には大久保公使が兼任していたユーゴスラヴィアも、ドイツの圧力を受けて三国同盟に加盟します。ところがすぐに反独クーデターが起き、新政府は三国同盟への協力を拒否します。ヒトラーは反抗的なユーゴを武力で平定する命令を下し、ドイツ軍の領内通過をハンガリーに求めてきました。しかしハンガリーは英国から「ドイツ軍の通過を認めれば、敵国とみなす」と警告されていました。板挟みとなったハンガリーの首相は自殺してしまい、最終的にはハンガリーもユーゴへ派兵します。4月17日降伏したユーゴは国が解体され、消滅してしまいました。

同じ頃、日本の松岡外相はヨーロッパを訪問し、4月13日に日ソ中立条約を締結します。6月22日ドイツ軍がソ連に侵攻して独ソ戦が始まり、ハンガリーも紆余曲折の末参戦し、大久保公使は任地で激動の日々を送ることになります。

その後のドイツ軍の対ソ戦における戦線膠着、真珠湾攻撃による日本の対米開戦、枢軸国側の劣勢という過程で、大久保ハンガリー公使は大島ドイツ大使から様々な圧力を受け、ヨーロッパの実情や戦況を日本に伝えることを阻まれてしまいます。1942（昭和17）年11月にベルリンで在欧大公使会議が開催され、議長の大島ドイツ大使は「全員で、本国政府にソ連攻撃を進言しよう」と提案しましたが、大久保公使が反対意見を述べ、表決は反対多数で否決されました。直後の1943(昭和18)年1月、スターリングラードのドイツ軍が降伏します。

5月にパリ公使への左遷辞令を受けた大久保は、その後奇跡的にシベリアルートで帰国を果たし、1944（昭和19）年2月、昭和天皇に「ドイツ敗北必至なり」というご進講をします。

同年7月のサイパン陥落、11月本土空襲開始、1945（昭和20）年3月10日の東京大空襲を経て、中立国外交団の多くが軽井沢へ疎開しますが、大久保利隆はそれに伴って設置された外務省軽井沢事務所の所長となり、そこで終戦を迎えます。戦後講和条約調査団の一員やアルゼンチン大使を務め、配布先を限定した簡潔な『回想』と長男への口伝えだけを遺して、大久保利隆は1988(昭和63)年に亡くなります。

髙川さんの大久保利隆ハンガリー公使の研究は、現代史の学界でも認められる高い水準のもので、決して単なる遺族による思い出や覚え書きではありません。筆者はこのことに深く敬意を表します。

会場には髙川さんを知るたくさんの応援団の方々もお見えになりました。そのお一人で、POW（戦争捕虜）研究会を通じて髙川さんと交流のある出羽仁さんは、明治の初めに来日し当時の日本郵船に務めていた英国人にルーツのある方です。出羽さんもご自身のファミリーの歴史を研究してご本を出版されています。

このように歴史研究をきっかけにご縁が広がっていくことは、歴史好きの筆者にとっては大変うれしいことです。湘南日独協会に入会させていただいたことを本当に有り難く思っています。講演会終了後には、髙川さんをお招きしての懇親会がダイヤモンドビルの「七福」で行われ、いつも以上の人数で大いに盛り上がったことを報告させていただきます。

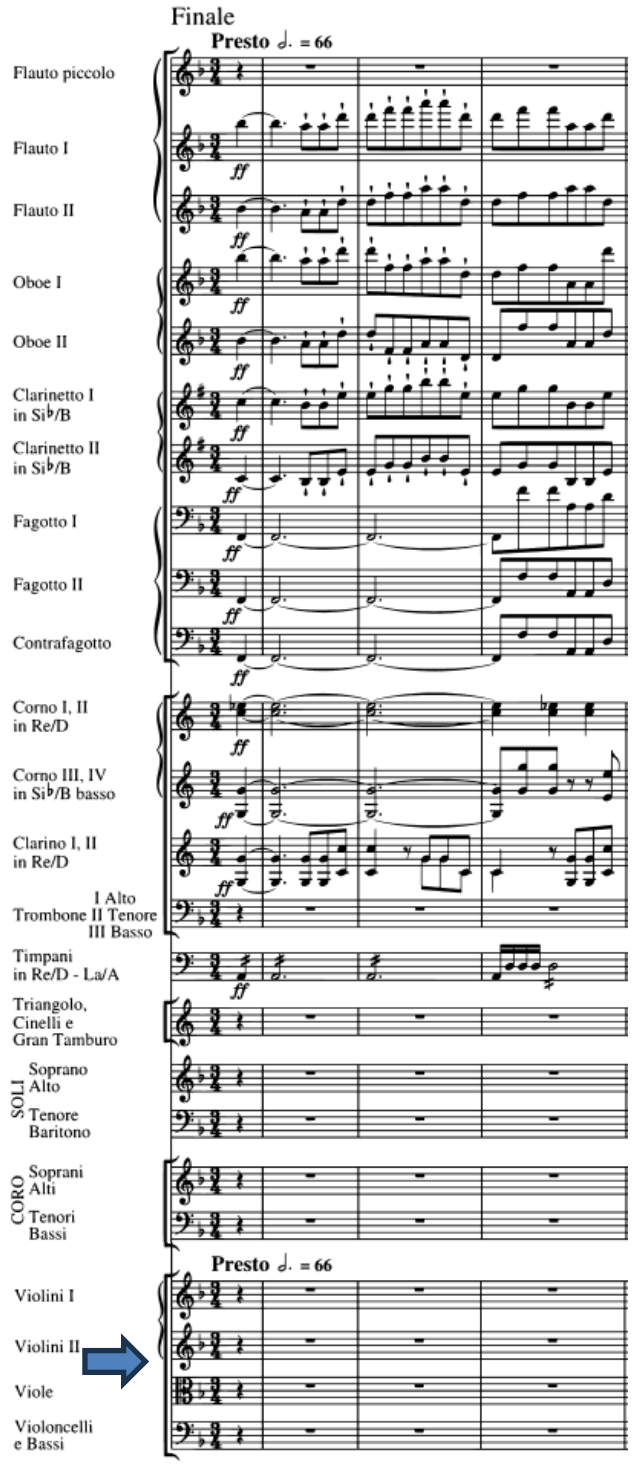
懇親会参加の皆さん

クラシック音楽の楽しみ方　第17回

会員　高橋　善彦

今回は総譜(そうふ)についての話です。
英語ではフルスコア(fullscore)、またはスコア(score)、独語ではPartitur、伊語ではpartitureです。音楽に登場する全ての楽器、パートをまとめて記譜したものです。作曲者や編曲者が音楽の総譜を作り、総譜から各パート譜面を用意します。指揮者、演奏者ともに曲の全体を把握するために、一般に出版されている総譜を利用し勉強しています。

次の譜例は、Beethovenの交響曲第9番“合唱付き”の第4楽章の冒頭です。



1. スコアの楽器配置

上から木管楽器、金管楽器、打楽器、鍵盤楽器、声楽(独唱、合唱)、弦楽器の順番で配置しています。そして、それぞれの楽器群では音域の高い楽器を上に配置しています。もちろん、例外はあります。

木管楽器は、上からFlute, Oboe, Clarinet, Fagottoの順となります。音域の高いPiccoloは原則からFluteの上に配置します。しかし、例えば、Fluteの第2奏者が、FluteとPiccoloを持ち替えて演奏する曲は多くあり、この場合Piccoloは第1 Fluteの下、第2 Fluteの位置に配置する場合もあります。
English horn（Cor anglais）はOboeより音域が低く、第2奏者が持ち替えることも多い為、原則通りOboeの下に配置します。左の第九の例を見ると、木管群の一番下にFagottoのオクターブ下の音域を持つContrafagottoがあります。原則通りFagottoの下に配置しています。

金管楽器は、Horn（Corno), Trumpet（Clarino), Trombone, Tubaの順番で配置しています。現在の楽器ではHornよりTrumpetが高音域ですが、古典派からロマン派の期間、金管の中で、Hornは木管楽器に近い役割を担当する曲が多いことから、伝統的にHornを木管に近い上に配置しています。TrumpetをHornの上に配置している作曲家(S.Prokofiev, D.Shostakovichなど)の例もあります。

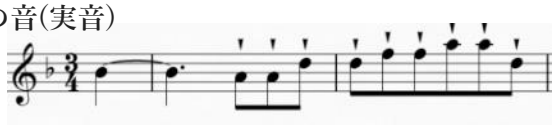
打楽器はTimpaniが音程を持つため五線を使い、上に配置し、大太鼓などの他の打楽器を下に配置します。そして、打楽器群に続いて、鍵盤楽器（Harp, Piano, Celesta, Organなど)、声楽（独唱(solo, soli), 合唱(coro)）、独奏楽器（協奏曲)を配置します。

弦楽器は、第1 Violin, 第2 Violin, Viola, Cello, Contra-bassの順番で配置します。
Beethoven以前の曲では、CelloとContrabassを分離して使っていない場合が多く、Bassi(bassoの複数形)として同一に扱っています。
Mozart以前の音楽では、通奏低音（basso continuo）として、CelloとContrabassはCembaloやOrganなどと同列に、低音楽器の選択肢の一つとして、個別の楽器名を表記していません。

2. 移調楽器

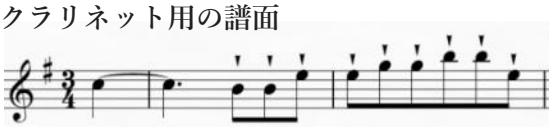
前の第九の例を見ると、Flute, Oboeには、♭が一つ付いています(d-Moll;ニ短調)が、Clarinettoには#が一つ付いています(e-Moll;ホ短調)。これは、d-MollとE-Mollが同時に鳴る訳ではありません。このClarinettoは、譜面のドの音を吹くと、実際の音はドより1音(全音)低いB(♭の付いたシ)の音が鳴る楽器を使います。この様な楽器を“B管のクラリネット”と呼びます。楽器の鳴る音が1音低いので、1音高い音を吹く必要があります。そこで譜面は1音高く書きます。例えば、d-Mollの曲は、1音高いe-Mollで書いた譜面を用意します。これで同じ音が出ます。このような譜面の音と実際の音が異なる楽器を“移調楽器 Transposing instrument”と呼びます。

実際の音(実音)



B管のクラリネット用の譜面

in B



in Bと書いて、B管用の譜面で、実際の音より1音高く記譜していることを明記します。

木管楽器の移調楽器には、B管のクラリネット以外、A管のクラリネット、F管のイングリッシュホルンなどがあります。

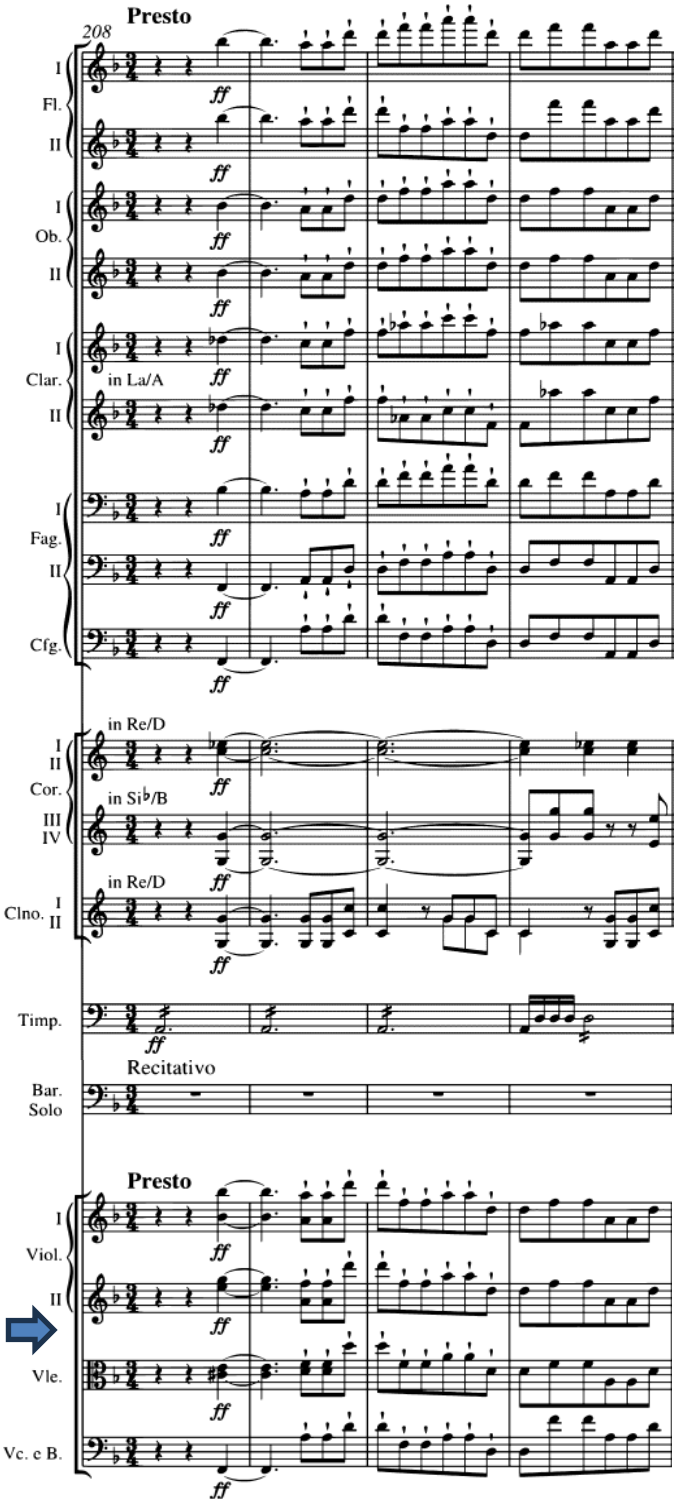
金管楽器は、ヴァルブの無い時代の名残から、多くの調性に対応する管のHornとTrumpet の楽器があります。HornとTrumpetは、曲の調性に一致した管、例えばD-Dur;ニ長調の曲にはD管の楽器を使い、Es-Dur;変ホ長調の曲にはEs管の楽器を使います。

3. オクターブの移調楽器

Piccoloは譜面の音よりオクターブ高い音が出ます。Contrafagotto, Contrabassは譜面の音よりオクターブ低い音が出ます。

4. スコアを見比べる ➡ 印の箇所

次の譜例は、Beethovenの交響曲第9番“合唱付き”の第4楽章、バリトン独唱がO Freundeと歌い始める直前です。前の第4楽章の冒頭と見比べてみると、冒頭で弦楽器は演奏していないことが判ります。同じ様に聞こえる箇所ですが、Beethovenは差を付けています。



5. 指揮者とスコア

指揮者はスコアを使って、自分の音楽を具体化します。曲や拍のテンポの構成、音の感触、強さとバランス、音楽のブレスなどなどを思い浮かべます。そして、気になる箇所には、スコアにマークなどを書き込み、オーケストラとの練習に備えます。そして、演奏家達と協演した音楽や評価や課題を、指揮者の考えを通してスコアに反映し、書き込みは増えていきます。

講演会 「人新世絶滅かと言う２１世紀に 人類はどう生きるか － 日独市民への期待」

講師 外 岡　豊 氏　埼玉大学名誉教授

寄稿者　会員　野秋　知江

題「人新世と絶滅かという…」を目にして困惑しました。日頃の勉強不足を反省しつつ、私には無関係なお話なのかと、出席しない予定でいましたが、当日、時間を作ることが出来、お伺いしました。

「人新世（じんしんせい）」とは、1945年以降の新地質時代区分の事を言い、その象徴は原子力である事。人類が科学技術を進歩させ、原子力を開発した事は気候危機に拍車をかける結果となっている。1945年以前は「完新世（かんしんせい）」と呼び、１万年ほど続いてきた。この間も気候変動してきたが、原子力の出現で、変化に加速「大加速（時間圧縮）」をしているのだという。地球温暖化により異常気象や地球環境の変化をニュースで耳にすることは、今や日常茶飯であるが、これをこのまま放っておくと人類の滅亡が５０年後頃に始まる見通しだと言う。その頃、私、生きてる？ とも考えましたが、他人事ではない。 美しい地球、人類という種を次世代に残すのが「大人としての責任」と襟を正す。

なぜ、人類滅亡などという恐ろしい事態が予想されるのか、現代の諸問題が様々な視点から指摘された。特に、経済第一の生産活動、飽くなき利潤追求。"ほどほどに"と言う言葉とは無縁の人間による経済活動で、排出されるCO2量の増大が大きな原因とされた。

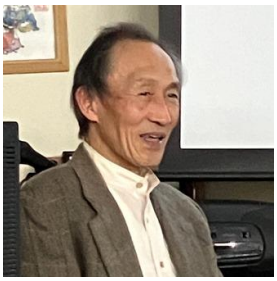
問題点の列挙と共に改善策も提示された。その一部を紹介すると

○少子高齢化対策：女性の第一子出産年齢を２０代前半、就職前を推奨する。介護は身内第一とし、見なし労賃の支給。

○教育大改革：学校教育を改革し、脱進学競争、芸術感の大修正、新しい学びによる天才発揮。

○住宅対策：持ち家と貸家の中間のような住環境の整備。都会と地方を行き来する移住生活。など現実に起きている諸問題を精緻に見つめ、その解決の為に独創的な解決案が示された。これらが実現すると、日本の、世界の未来は明るい？

そして、最後に、私達一人一人の実行しうる活動も提案された。それは「脱ビジネス」相互無償行為で出来うる事をする。労働の目的をお金ではないものに。（う～ん、そうありたい）「見返りを求めない」「無償の愛」悟りを開いた偉人が言っていたような？
でも、労働提供したなら、やっぱり“報酬”欲しなぁ。
凡人の呟きでした。さあ何か、始めよう！



講師 外岡 豊 氏

講演会会場

懇親会

談話室　SAS（おしゃべりの会）

３月例会 １２日（火）のSASは、映画鑑賞会です！
場　　所：鎌倉川喜多映画記念館
上映作品：フランス映画「モンパルナスの灯」
　　ジェラール・フィリップ主演
映画鑑賞後は揃って昼食の予定です。

＊この会報がお手元に届くのは、11日以降になります。今回はご参加頂けないかも知れませんが、今後も新しい趣向を計画しています。どうぞアイデアをもってご参加下さい。常に新しい情報はホームページに掲載しております。
「湘南日独協会」で検索してみて下さい。

「ドイツの暮らし」
どちらの言い分に、そうだなと思えますか？

棚橋 フリース あこ

ハンブルク中央駅構内

1月24日から29日の長い間、ドイツ鉄道はまたストライキをしました。ハンブルク日本領事館より、ストを知らせるのメールも来ました。

正確にいうと、そのストは列車の運転手の労働組合のストです。ドイツ鉄道自体はしたくなかったので、運転手のストが行われるということでドイツ鉄道は運転手組合を裁判に訴えました。一般の人の生活に支障がおきるからです。しかし、ドイツ鉄道は負けてしまったのです。

夫の弟はドイツ鉄道の子会社で整備の仕事をしており、支給されたDB（Deutsche Bahn）の名前の入った作業服を着ている事があります。弟の同僚は先日、その作業服で家に帰る途中、ビールをかけられました。ストをされた側は怒っているぞ、という事です。

ドイツ鉄道のストは、運転手労働組合のストですから、給料を上げないと俺らは運転しないぞ、という事です。

少し前に、ドイツで全国規模の同じようなストが行われました、ちょうどその日はハンブルクに住む日本人の友人と会うために出かける予定でした。DBではない、ニーダーザクセンの私鉄、メトロノームは動いていました。雪も降っていて気になっていたところだったのですが、Pünktlich!　時間通り！に運行されていました。

ドイツの会社では、働く者を守り大切にするのだそうです。日本で大切なのは、どちらかというと、従業員よりもお客様を大事にという違いが大きい気がします。ですからドイツでは、ストを行い、自分たちの給料アップをはかる。そのためにはお客様側で迷惑がかかろうが、あまり問題にしていないのです。

日本だったらどうでしょう？こんなストが行われたら大都市では混乱が起きるでしょう。お客様に迷惑がかかるのは、当然で、こんなストが起きるのはまず考えられません。

この日、普段たくさんの人が行きかうハンブルク中央駅ですが、電車が動いているのはメトロノーム、シュレスヴィヒホルシュタイン州の電車だけのようにみえました。市内を走るSバーン、地下鉄のUバーンもとまっていました。ハンブルク市内で動いていたのはバスのみ。ハンブルク中央駅は人がほとんどいません。

観光客も仕事でハンブルクで働く人も、交通手段がないので来る事ができません。そんなストライキの日、普段人でいっぱいのハンブルクに人が全くいなくて、どのお店も入りやすく、セールが始まった街なのに人がまるでいないという、私にはあまり味わうことのない、ラッキーな日だったわけです。

その日とあまり違わずに、農家のデモも行われ、トラクターなどが一般道を占拠し、他の車が動かないような日になったのです。政府のディーゼルガソリンの補助金が終了したことに反対してのデモでした。昨年、北の街、キール(Kiel)というところでもそのデモが行われ、私はその時ちょうどバスに乗り合わせていました。バス通りに何台も何台もトラクターが通り、車の行き来が一時的にできなくなりました。皆さん、どう思いますか？

従業員があってこその会社との考え、お客様には迷惑をかけても、働いている人を守る。

一方、従業員よりもお客様が優先、お客様は大切だから、お客様がいるからこそ、会社経営が成り立つ、との考え方。働く側でも、利用者、客でもある私たち。

皆さんは、どちらの言い分に、そうだなあと思えますか？　しかし、私にとって、人のいないハンブルクはちょっと特別な日でもあり、ワクワクもしたのでした！

劇場便り 36

ブレーマーハーフェン　　志賀トニオ氏

ミュージカルの場面

今シーズンは演劇部門の演目であったミュージカル"スパマロット"の指揮を担当しましたが、そのプレミエが終わった後は並行して稽古が進行していたヘンゼルとグレーテルのオーケストラとの舞台稽古に参加しました。今回は娘４人が合唱団として参加していたので、せめて最後の10日間稽古に関わる事ができて嬉しかったです。

ヘンゼルとグレーテルの子供が歌う箇所は、魔女によってお菓子にされてしまった子供達が、魔女が退治された事によって人間に蘇る場面で、曲の最後を締めくくる大事な役目です。歌うのも難しく、彼女達にとっても大きなチャレンジでした。そして、本来はこの場面しか子供の出番はないのですが、今回は演出家の意向で曲の始まりと第２幕にも出演する事になり、拘束時間が長く大変でした。夜の公演では１９時に会場入りし、帰宅するのが２２時を過ぎてしまうので、小学生にはなかなかハードです。

子供の参加するオペラでは休憩前に出番が終わってくれると助かるのですが、なぜか多くの作曲家が作品の終盤に子供を登場させるのが不思議です。以前も蝶々夫人に当時５歳だった娘が参加し、２２時過ぎに最後の場面に登場する直前に目を覚ます為にひとかけらのチョコレートを食べさせていたのを思い出します。

ヘンゼルとグレーテルの場面　筆者の4人の娘さんが出演

さて、ヘンゼルとグレーテルのプレミエが無事終わった後はドボルザーク作曲のルサルカです。彼のオペラの中では、ドイツで最も人気があり、とてもロマンチック且つ難易度の高い作品です。
歌うのも大変ですが、ヴォーカルスコアが弾き難く大変苦労しました。コレペティトアの友人達と話をして分かったのですが、多くの同僚がこのヴォーカルスコアにてこずっているようで、自分だけではないと少し安心しました。

そこで今回はヴォーカルスコアの良し悪しについて少し解説したいと思います。

今回のルサルカはBärenreiter（ベーレンライター版）Solc（ソルク）編。この版ではスコアにあるオーケストラの音をヴォーカルスコアに詰め込みすぎていて、そのまま弾く事が不可能である箇所が頻繁にある為、必然的に弾く音を選別する事を余儀なくされてしまうのです。弾く音を選別する事自体は我々コレペティトアにとっては日常茶飯事なのですが、その頻度が多すぎると弾きにくいヴォーカルスコアとなるのです。業界でよく話題になるのがモーツァルトのヴォーカルスコアの比較です。２０数年前まで多く使われていたのがPeters（ペータース）という出版社で、とても弾きやすいヴォーカルスコアです。初見でも弾けるように音が配置され、コレペティトアが譜めくりの時に音を省く事まで考慮して楽譜を作っていると感じます。

それに対し２０数年前から世に出始めたBärenreiterのヴォーカルスコアは、前述のルサルカと同様にスコアにあるオーケストラの音を忠実に再現する事に重きを置いた結果、学術書のような楽譜となってしまい、所謂弾き難いヴォーカルスコアになってしまったように感じます。昨今Bärenreiterは自筆譜に最も忠実な版として高い評価を受けています。私もモーツァルトのスコアは必ずBärenreiterを使用しています。しかしシューベルトのときにはBärenreiterを使用しません。なぜなら、シューベルトの時に問題になる自筆譜からは見分け出来ないアクセントとディミヌエンド“＞”をアクセントで統一してしまっている為に、作曲者の意図と異なる結果をもたらす可能性が高まるからです。Bärenreiterは全て素晴らしいと思わず、適材適所で出版社を選んでもらえればと願っています。

アムゼル総会と親睦会を開催

湘南日独協会混声合唱団代表　田中 満穂

2月21日水曜日、いつもの練習場所である鵠沼公民館から藤沢カトリック教会に場所をかえ、午後1時半より練習を開始、3時半から23年度活動のまとめとして総会が開催されました。

議長大久保明さん、書記前会長の辻川一徳さんで総会が始まり、23年度の活動報告、決算報告、24年度の活動方針、24年度の予算が報告され、出席者の賛同を得ました。

昨年のアムゼル活動における一大イベントは10月のゾーリンゲン国際音楽祭にビデオ動画による全世界リアルタイム放映に参加できたことだったと言えます。３年間のコロナでアムゼル発足18年、20年の節目の記念コンサートも開催できなかったので、このゾーリンゲン音楽祭参加がその代わりを果たしてくれて良かったと思います。

24年度の活動は来年5～6月に開催を予定したアムゼル第3回コンサートに向けて、今年はしっかり練習をすることを大目標にあげています。

総会後は、4年ぶりに開かれた楽しい親睦会が同じ会場で行われました。アムゼルはコロナにより一時期大幅な会員減少となりましたが、あらたに10名もの入団者が加わり、団の活性化につなげることもできました。引き続き、アムゼルでは新しい団員を募っておりますので、ご興味のある皆様の見学をお待ち申し上げております。

総会とその後の懇親会

湘南日独協会 2024年新年会へ参加して

会員　堀口 みゆき

前列向かって右から2番目が筆者

和気藹々とした湘南日独協会の新年会に、この度新参者として出席させて頂きました。

入会のきっかけは、私が昨年3月から江ノ電沿線新聞社、湘南アカデミアの俳句講座の講師をしており、正岡子規のご親族の藤野満氏が俳句講座にご参加。その後、藤野氏が湘南日独協会にて正岡子規についての講演をされ、私も聴講させて頂いたことから始まります。

講演終了後、懇親会にて会長様はじめ皆様が入会を勧めてくださいました。私はなぜか、ドイツには縁があり、今はすっかり忘れていますが大学時代、第二外国語がドイツ語。また、３０歳頃、初めての海外旅行６か国のうちの一つがドイツでした。当時、まだ東西に分かれていたため、イタリアからドイツへ「太陽の道」をバスにて移動。途中ハイデルベルグ城を巡り、幼少期に大好きだった童話の中のお城と重なり懐かしさを感じました。

その後ギュンター・クリンゲ氏など、ドイツの俳人を中心とした世界俳句選集に１０句程掲載されたことなどがあげられます。

湘南日独協会の会報を拝見し、様々な分野、特に音楽活動が活発ということも魅力の一つでした。未熟ながら、歌の伴奏など、時々ピアノを弾いている私ですが、すばらしい方々の演奏をお聴きし勉強させて頂きたく存じます。新年会の終了後、同じ卓に座られていた素敵な女性お二人、伊藤様、八尾様と女子会となり、楽しいひとときを過ごすことができました。皆様、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

SWZ　2023年・忘年会

リーダー　木原 健次郎

毎月のSWZ例会後は、希望者だけで居酒屋に流れて飲み会をやっていますが、昨年１２月は、湘南日独協会の忘年会もないので、「是非賑やかに忘年会を」という要望に応え、急遽、12/21（木）16:00から、駅近くのカラオケ店でSWZとしてのカラオケパーティーを開催しました。

新たにメンバーに加わった横山さん、於保さんを含め１０名程度の小規模なパーティーでしたが、飲物・食べ物・おつまみ何でも持込OKの店でしたので、レストランでの忘年会と違い、大変和やかな家族的なパーティーになりました。ご自宅で調理した物や、カラスミ等の高級おつまみ、又、高級ワイン等、差し入れ（持参）頂いた皆さん、有難う御座いました。

食事、歓談、一巡後は、当然、皆でドイツ語カラオケ（私設のOktoberfest？）。アルコールが入っているせいか、皆さん急にドイツ語が上手になった印象を受けました。（歌の方は、そうでもないですが。失礼！）。あっという間の、楽しい３時間、再会を期して解散となりました。

ドイツ語の勉強で疲れ気味の方。気分転換に一度SWZをのぞきに来ませんか？（見学無料、入会随時。申し込みはHPから、又は、会報同封ハガキから）

今回の忘年会の写真は撮り忘れました。これは夏のビアフェストの模様

今後の予定曲目

３月14日（木）
・Der Winter ist vergangen
・Nun will der Lenz uns grüssen
・Es waren zwei Königskinder
・Im Frühtau zu Berge
・Patrona Bavariae

４月18日（木）
・Muss I denn
・Das Wandern ist des Müllers Lust
・Wenn Gott will rechte Gunst erweisen
・Bozner Bergsteigerlied

ドイツ語講座（2024年春夏コース）案内

講座内容

入門　ドイツ語を初めて学ぶ方のためのコース。ドイツ人講師とはドイツで発行の教科書を使って基本的会話を、日本人講師とは教科書を補足する形で、文法を中心としたドイツ語の基本的な構造を学びます。

初級　ドイツで発行の教科書を使って日常的な表現を中心に学びます。ドイツに旅行したい、ドイツ語が読めるようになりたい、ドイツ人と話をしたいなど、ドイツ語と親しんでいきたい皆様の受講をお待ちしています。（継続クラスです）

中級　教科書及び各自のプレゼンを通じて、さらなる語彙力、表現力、リスニングなど会話力向上を目指します。日本人講師は主に文法構造を指導します。（継続クラスです）

開講日　初回　４月６日（土）

注：日本人講師中川先生は対面で藤沢商工会議所（ミナパーク）で行いますが、オンラインによる受講も可能です。ドイツ人講師フリース先生は原則オンラインで行います。

中川先生

フリース先生

照会先

中村 茂子 natalie@jcom.zaq.ne.jp
島　　新　shinshima8@nifty.com

詳細は同封のチラシ・申込書、ホームページをご覧ください。

湘南日独協会創立25周年記念

日本文化に親しむ会

会報９月号、12月号でお知らせしてきました日本文化に親しむ会への参加募集を開始いたします。
詳細は同封しておりますチラシでご確認の上、お申し込みください。

受け付けは、電話で申し込み、その後、会費をお振込み頂くことになりますのでご注意ください。

日　　時　令和６年５月１９日
開催場所　宇庵　横浜市栄区田谷町
会　　費　４千円

☆

テ ー マ　源氏物語

組香は源氏香、お茶はお道具やお菓子で源氏物語を楽しんでいただきます。

御指導　茶道　裏千家師範　　小川 宗和 氏
　　香道　泉山御流師範　小島 邦香 氏

新入会員紹介

藤田　操 様　　於保　茂 様　　佐々木　進 様

寄附御礼　2024年度後期

笹　信夫 様　　高橋善彦 様　　伊藤志津子 様
斎藤和夫様

年会費納入のお願い

2024年度の会費納入をお願い致します。
４月末を目途に同封の振込用紙を使用してお振り込みください。個人会員は3,000円、家族会員はお１人2,000円です。ご寄付も頂ければ幸いです。
お名前を忘れずに記入の上、お振り込みください。

例会会場の変更と会費の変更

これまで江ノ電第2ビル湘南アカデミアを例会会場としてまいりましたが、ミナパークを主たる会場とする事になりました。会場の費用が増加することになり、4月の例会より、参加費は1,500円とさせていただきます。皆様のご理解を頂きたくお願い申し上げます。尚、事務所としては江ノ電沿線新聞社内（4F）に引き続き置いて頂くことでお世話になります。

年次総会開催案内

湘南日独協会の総会もお陰様で、本年度で２５回目を迎えます。つきましては、今後の発展の為、会員の皆様からご意見を頂きたく、皆様の御出席をお願い申し上げます。（気軽にお話ができるようささやかながら飲物とおつまみを用意致します）

第２５回定時総会

日時：2024年4月28日（日）15:30 – 16:30
会場：ミナパーク5F　505会議室
（JR藤沢駅北側徒歩5分）

＊当日開催の例会（14:00－15:30）に引き続き、同じ会場で開催。
参加申込は、同封返信用ハガキでお願い致します。

編集後記

- ２０２４年の年明けは能登半島地震の発生で正月気分が一瞬にして消え、ウクライナ、ガザの状況も深刻度を増し今後の政界情勢の変化に益々注目が集まっています。私たちの国際交流活動は益々重要になっていると思います。
- 合唱団アムゼルはゾーリンゲンでの国際コーラスフェストへビデオ参加をし大変注目を浴びいます。２０２５年には第3回のコンサートを計画しています。ご期待下さい。私も参加予定で練習に参加しています。ユーチューブでも見ることが出来ます。一度ご覧ください。
- 湘南オクトーバーフェストの再開を計画しています。２０１９年を最後として、新型コロナの影響で開催することが出来ませんでしたが、それまで開催していました、藤沢市民会館の展示場で飲食可能となりました。ビールを飲みながら歌って踊っての“オクトーバーフェスト”を皆さんと是非楽しみたいと思います。詳細は、Der Windの次号（６月発行予定）でお知らせする予定です。
- 皆さんの例会のみならず、歌う、読む、話すのプログラムへの参加をお待ちしています。

（大久保）

湘南日独協会催事カレンダー(2024年3月～7月）3月1日現在の情報です

03月	見て聴いて楽しむ音楽史　しばし休会					
	読書会	11日（月）	15:00-17:00	ミナパーク５０５	会費：1,000円	
		25日（月）	15:00-17:00	ミナパーク５０５	会費：1,000円	
	談話室SAS	12日（火）	10:30～	映画鑑賞会（鎌倉市川喜多映画記念館）と昼食会		
	SWZ	14日（木）	15:00-17:00	ミナパーク５０７	会費：1,000円	
	講演会	24日（日）	15:00-17:00	ミナパーク５０５	会費：1,000円	
		演題：	現在の世界の状況下でのドイツと日本の友好関係			
		講師：	ゼーンケ・グロートフーゼン氏(Dr. Soehnke Grothusen)　駐日ドイツ大使館文化部長			
		概要：	講演はドイツ語で行われ、ドイツ人は今、日本をどのように見ているのか、日本語の通訳付きで興味深い話が期待されます。部長は現代のマンガ・ゲームなどの若者文化も研究調査の対象としています。皆さんとの質疑も楽しみにしています。　懇親会：有り			
04月	読書会	8日（月）	15:00-17:00	ミナパーク５０５	会費：1,000円	
		22日（月）	15:00-17:00	ミナパーク５０５	会費：1,000円	
	談話室SAS	09日（火）	15:00-17:00	ミナパーク　Ｍ２	会費：1,000円	
	SWZ	18日（木）	15:00-17:00	ミナパーク５０７	会費：1,000円	
	年次総会・講演会　28日（日）	14:00-17:00	ミナパーク５０５			
	・講演会	14:00-15:30	ミナパーク５０５	会費：1,500円		
		演題：	夢が叶う―１３年ぶりのドイツ一人旅			
		講師：	中川淑郎氏　会員、横浜市立大学名誉教授			
		概要：	９１歳の講師が、以前に数回にわたり滞在して研究生活を送られた想い出のドイツを、１３年ぶりに訪ね、墓参（Darmstadt, Heidelberg)をし、想い出多い街（Dresden, Osnerbrück, Münchenなど）を訪問した楽しい一人旅のお話しです。			
	・総会および懇親会	15:30-16:30	ミナパーク５０５			
			後半に飲み物とおつまみをお出しし、懇親会とします。			
		懇親会：終了後さらに別途場所を移して別会費にて、有り				
05月	読書会	13日（月）	15:00-17:00	ミナパーク５０６	会費：1,000円	
		27日（月）	15:00-17:00	ミナパーク５０５	会費：1,000円	
	談話室SAS	14日（火）	15:00-17:00	ミナパーク　Ｍ２	会費：1,000円	
	SWZ	16日（木）	15:00-17:00	ミナパーク５０６	会費：1,000円	
	創立25周年特別企画：日本文化に親しむ会（茶道と香道をとおして）					
		19日（日）	10:00-14:55	宇庵（横浜市栄区田谷町）	会費：4,000円	
			午前の組、午後の組と分かれます。詳細、チラシ参照。		例会・講演会　なし	
06月	読書会	10日（月）	15:00-17:00	ミナパーク５０５	会費：1,000円	
		24日（月）	15:00-17:00	ミナパーク５０５	会費：1,000円	
	談話室SAS	11日（火）	15:00-17:00	ミナパーク　Ｍ２	会費：1,000円	
	SWZ	27日（木）	15:00-17:00	ミナパーク５０６	会費：1,000円	
	講演会	23日（日）	15:00-17:00	ミナパーク５０５	会費：1,500円	
		演題：	第2次世界大戦下の滞日ドイツ人（湘南方面を中心に）　講師：大堀 聰氏（現代史研究家）			
		概要：	先の大戦中には約2800名のドイツ人が日本に滞在していました。その内、湘南地方にはどのようなドイツ人が暮らしていたのでしょうか。比較的知られた名前の名士が多く、彼らを通して当時の日本のドイツ人社会の縮図が見えてくると言えるでしょう。　懇親会：有り			
07月	読書会	8日（月）	15:00-17:00	ミナパーク５０５	会費：1,000円	
		22日（月）	15:00-17:00	ミナパーク５０５	会費：1,000円	
	談話室SAS	9日（火）	15:00-17:00	ミナパーク　Ｍ２	会費：1,000円	
	SWZ	25日（木）	15:00-17:00	ミナパーク５０６	会費：1,000円	
	講演会	28日（日）	15:00-17:00	ミナパーク５０５	会費：1,500円	
		演題：	**105歳(106歳を間近に迎えて)を振り返る**　講師： **藤田 操氏（会員）**			
		概要：	105歳を振り返り、戦前、戦中、戦後を語って頂き、また、退職されてからドイツ語を再び積極的に勉強され、その後継続されている。その魅力についても語って頂きます。			
		懇親会：有り				

参加される皆様へ　準備の都合上、早めにお申込ください。

従来、講演会の会場として使用していたアカデミア７Ｆは、江ノ電沿線新聞社の移転により使用できなくなり、４月以降はミナパーク会場となりました。それにより会場費が大幅にアップし、協会としても経費見直しを進めていますが、例会・講演会ご参加の皆様にも参加費としてご協力頂きたく、例会・講演会に限り会費を500円値上げさせて頂きました。ご理解・ご協力をお願い申し上げます。

各催しは変更される場合があります　最新の予定を当協会のホームページでご確認ください。

URL ： https://jdg-shonan.ciao.jp/　　右記のQRコードからもアクセス出来ます